

発行日：2018年9月14日
主 題：公式通知 03

発行時刻：14時 20
文書番号：1.03

発 行：競技長
宛 先：全日本選手
ページ：1 ページ 付則：1 ページ

JRC

1. ブリーフィング資料

a) アクシデント発生時のセーフティ手順

アクシデント発生時は付則 1 の手順にしたがい行動する事。

b) SS1,9,15 ストップ後の鋭角カーブに関して

全選手は COMMUNICATION No.2 の内容を確認する事。

c) ラリーショー、フォトセッション、ヘッドライトの点灯および走行マナーに関して

全選手は COMMUNICATION No.3 の内容を確認する事。

以上

競技長

植田 龍史

審査委員長

工村 賢司

審査委員

三重野 正治

審査委員

藤原 篤志

Attachment 1 / 付則 1

アクシデント発生時のセーフティ手順

- 1) 全ての競技者は、FIA 地域ラリー選手権規則の 40.2 条と付則 III の 5.5 と 5.6 を熟知しなければならない。
- 2) 赤の SOS サインが提示されている場合は、必ず停車し、事故を起こしたクルーを援助しなければならない。ケガをしているクルーを救助し、救急サービスを出来る限り速く出動させることは、各クルーの義務である。
- 3) 事故現場に最初に到着した車両は、停車して、後続の車両に全て状況を伝えなければならない。
- 4) 二番目に現場に到着した車両は、以下の情報を次のラジオポイント（又はフィニッシュコントロール）に伝達しなければならない。
 - ・事故を起こした車両のカーナンバー。
 - ・クルー及び観客のケガの有無。ケガ人が居る場合は、その人数。
 - ・クルーが車両から出られない、又は観客が車両に挟まっている状態にないかどうか。
 - ・事故現場の位置（ロードブックに記載している一番近いコマ図又は道路キロ標識）。
 - ・その他あらゆる重要な情報（火事、水など）。
- 5) SOS サインが提示されている場合は、後続の車両は停車しなければならない。
- 6) SS 内に車両が路上以外の場所に停車している場合でも、非常用停止標示板を停車している車両から 50m 以上離れている見やすい場所に置かなければならない。
- 7) 競技の緊急電話番号 0155-67-0464
- 8) リタイヤする場合はオーガナイザーに通知しなければならない。 0155-67-0460
- 9) 全てのリタイヤした競技者は、できる限り早く一番近いコントロールポイントにタイムカードを返却しなければならない。